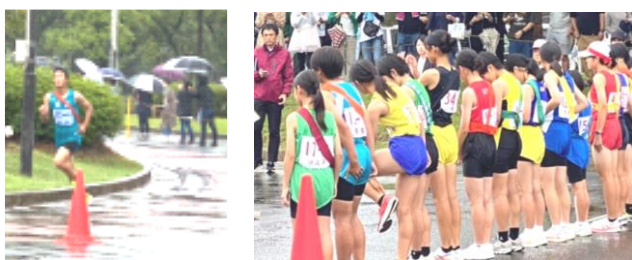




駅伝競走での頑張り

今年度、10月2日(水)に南島原市駅伝競走が雲仙市、大村市、南島原市合同で、諫早市トランスコスモススタジアムで開催されました。雨天の中、生徒たちは、全区間で自己ベストのタイムを出そうと、本当によく頑張っていました。当日、走らなかった生徒が、走り終えた生徒を笑顔で迎え、頑張りを共に讃えている姿に仲間を思う気持ち、チームとしてのまとまりに触れ、目頭が熱くなりました。

結果は、男子が4位、女子が7位でした。3区の岩田隆之介さんが、見事、区間賞を取りました。当日、走った生徒も応援に回った生徒も精いっぱい頑張っていました。



※大会前の選手激励式で、心を込めた言葉がありました。紹介します。

＜激励式での生徒激励の言葉＞

選手の皆さんは、夏休みから準備を始め、猛暑の中練習を頑張っていました。放課後に全力疾走する姿は、本当にかっこよかったです。皆さんは、有家中学校の代表であり、素晴らしいチームでもありますので、自分たちの走りに自信を持ってください。そして、全力で試合に挑んでください。生徒代表 3年1組 末吉 心

快挙！！男女アベック優勝！

去る9月21日(土)、28日(土)に、南島原市中総体新人戦ソフトテニス大会が、個人戦、団体戦と両日開催されました。その中で、団体戦において、男女アベック優勝を成し遂げました。男女ともに決勝は2対1の接戦を制し、見事優勝しました。生徒の頑張りに拍手を送りたいです。女子は、個人戦でも1位と2位を独占し、男女共に10月26日、27日に行われる県大会に出場します。

団体戦 男子 優勝 女子 優勝
個人戦 本多・中村ペア：優勝
山田・松本ペア：準優勝



＜アベック優勝したソフトテニス男女＞
生徒の活躍

◎ソフトテニス競技

第108回口之津・天草ソフトテニス大会・・・優勝(女子)

◎軟式野球競技

第16回全日本春季軟式野球大会・優勝
10月12日・13日に松浦市で開催される県大会に出場(全国までつながる大会)



＜3区区間賞の岩田さん＞＜準優勝の山田・松本ペア＞＜激励する末吉さん＞＜目指せ全国、軟式野球部＞

学びが深かった職場体験学習



<美容室>

<お菓子作り>

<コンビニレジ>



スーパーや写真館で実際に写真撮りや牧場にて牛のお世話、図書館にて図書の整理、消防署にて、消防車で出動するなど、学びが多い活動でした

<美容室>

<お菓子作り>

<コンビニレジ>

会場が変わります！

来る10月24日(木)に開催する合唱コンクールの会場をありエコレジヨホールから有家中体育館に変更します。

衆議院選挙が行われるため、ありエコレジヨホールが使用出来なくなったためです。ご理解ください。多数のご来館をお待ちしています。

<今後の予定>

10月

- ・11日(金)進路説明会(3年生)
- ・24日(木)合唱コンクール(体育館)
- ・29日(火)薬物乱用防止教室(2年)
- ・30日(水)青少年劇場(寄席)

ブレイクコーナー

自分の考えや人の受け売りです。気軽にお読みください。

『鑑と鏡』

鑑と鏡、どちらも「かがみ」と読む。「鏡」はそのま姿を映し出すもの、「鑑」も同じ意味を持つが、手本、模範という意味がある。

日本教育研究所長の森隆夫氏は親子の関係を次のように言われている。「親は子の鑑」であるべきだし「子は親の鏡」でもある。つまり、家庭教育は「模倣」で始まる。親が模範を心掛ければ、自然と子どもも模範的になる。子どもは親が「言ったように」は育たず、「やったように」育つものだからである。海外にも同じような内容の有名な詩がある。それは、ロサンゼルス出身のドロシー・ロー・ノルト博士の詩である。その詩を紹介します。

「子は親の鏡」

子どもは、批判されて育つと人を責めることを学ぶ。子どもは、憎しみの中で育つと人と争うことを学ぶ。子どもは、恐怖の中で育つとオドオドした小心者になる。子どもは、馬鹿にされて育つと自分を表現できなくなる。子どもは、嫉妬の中で育つと人をねたむようになる。

子どもは、辛抱強さを見て育つと耐えることを学ぶ。子どもは正直さと公平さを見て育つと真実と正義を学ぶ。子どもは、励まされて育つと自信を持つようになる。子どもは、ほめられて育つと人に感謝するようになる。子どもは努力を認められて育つと目標を持つようになる。

子どもは、静かな落ち着いた中で育つと平和な心を持つようになる。子どもは、安心感を与えられて育つと自分や人を信じるようになる。子どもは、親しみに満ちた雰囲気の中で育つと生きることは楽しいことだと知る。子どもはどんな環境で育っていますか？

ドロシー博士は、この詩について下の吹き出しのように語られています。

「子どもは親を手本にして育ちます。毎日の生活での親の姿こそが、子どもに最も影響力を持つのです。そのことを、詩『子は親の鏡』で表現したかったのです。」